



2023年(令和5年)3月1日発行 No.414号
公益財団法人 川崎市産業振興財団
〒212-0013 川崎市幸区堀川町66-20
☎044-548-4114
FAX 044-548-4110

産業かわさき情報

<https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/gyoumu/jyohou/report.html>

身近にいる大切な人を守るために

～「学びの場」の構築と誰もが参加できる「看民工学」～

川崎市産業振興財団が代表機関となり、ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) を中核拠点とした文部科学省/JSTによる国家プロジェクト“CHANGE” (レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点) の始動について、本誌11月号及び新年号でお伝えしました。今号では、プロジェクトの中で進めている「学びの場」について、これまで実施した取組実例とともにご紹介します。



入職1年目の看護師とCHANGEメンバーとのワークショップ (主催: 川崎市看護協会)

ところで…「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」って、何?

高齢化の進展に伴い、自律的な生活を営むことができる期間“健康寿命”を延伸させることが必要となっています。しかし効果的な解決策が未だない中、プロジェクトでは、現場から寄せられた「病院と異なり在宅での看護で患者に寄り添うのは家族であり、その環境も一軒ごとに違う」「医師や看護師でなくても誰でも使える看護の道具が必要」などの声から、これまで研究対象としては手付かずであった在宅医療における看護現場に理工学の視点を加味した研究を進めることにしました。

レジリエンス (英: resilience) とは「回復力」「弾性 (しなやかさ)」を意味しますが、ここでの「レジリエント」とは、病に対して「しなやかな復元力」を有する状態と定義して、年齢を重ねるごとに進む体調の変化を日常生活の中で体系的に捉えて、寝たきりにならず自律的な生活を取り戻せる技術の開発を目指します。

後述する市民のケアリテラシーを高めるとともに、家族などの医療専門家でない人が自宅で看護できる道具や仕組みを創出

看護実践のための知識と理解力(ケアリテラシー)の醸成

病院のように24時間医療のプロが寄り添う事ができない在宅医療において、誰もが身近な人を看護できるようになるためには、医療関係者でなくても手軽に扱える在宅看護機器やシステムの開発とともに、看護に対するマインドと、看護実践のための知識や理解力(ケアリテラシー)も重要な要素と捉え、その醸成を進めます。

リテラシー(英: literacy)とは、書物の記述や人から教えてもらったことを理解して応用できる力です。身近にいる大切な人を見守るには、一定程度の医療や看護の知識とノウハウを備え、いざという時に使えることが必要になります。そこで、誰もがケアリテラシー(看護に関するリテラシー)を高める「学びの場」をプロジェクト“CHANGE”で構築しようとしています。

また、研究が研究者の考えと興味だけで進んでいくことも好ましくありません。研究の途上から、市民や医療従事者といった研

究成果に関わるステークホルダーの声を積極的に取り入れておくことも、将来の社会実装では重要なことです。研究者と市民、或いは医療従事者とが意見交換をする機会としても「学びの場」を活用しながら、リテラシーの向上をプロジェクト“CHANGE”で目指します。



これまで実施してきた取組のご紹介

近年、「理科離れ」が話題になることが多くありますが、子どもたちの理科離れは将来の研究人材不足が懸念されるだけでなく、一つの研究プロジェクトを進める上で必要な市民との「共感」を形成しにくくなるという問題にも繋がっています。と言うのは、市民の声は研究の方向性の決定や、試作品の評価を得る上で大変

重要な位置づけにあり、このままでは暮らしに役立つ科学技術の発展が危惧されます。そこで、プロジェクト“CHANGE”では川崎市と連携し、市民の皆様が科学や医療への興味を持っていただくための取組も行っています。

生田緑地「宙と緑の科学館」での市民交流イベント



2021年度に続き、今年度も生田緑地の「かわさき宙と緑の科学館」でパネルや模型を使ったiCONMの研究紹介や小学生を対象とした「ナノマシン」の動画解説、さらにはVRを使った認知症啓発(*)の市民参加型ワークショップの実施などにより、市民の皆様との交流を深めました。



市民公開講座

市民の健康啓発と中高生のキャリア開発を目的とした市民公開講座を2021年度から5回開催しました。疾患啓発では、がん、認知症、糖尿病等の市民の皆様が関心が高い疾病をとりあげ、それぞれの分野の専門家の講演とパネルディスカッションを通して、自身や家族がこのような疾患になった時の対処について学びました。



* VRを使った認知症啓発について

認知症があっても暮らしやすい地域(Dementia Friendly Community:DFC)の実現には、地域の人々が認知症を理解し、適切な支援行動を行えるようになることが必要です。東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター(GNRC)では、DFCの実現を目指し、認知症のある人の視点を疑似体験できるバーチャルリアリティ(VR)技術により認知症に関する理解を深め、支援の意識を高めるプログラム(以下、認知症VRプログラム)を開発しました。これは、認知症の高齢女性の生活を描いたドラマとVR映像の視聴、講義、支援方法の話し合い等で構成される、60~90分間のプログラムです。このプログラムは子どもから大人まで受講することができますが、13歳以下の方には、PC画面やスクリーンで当事者視点のVR映像を視聴する形で参加いただいています。



認知症の高齢女性の生活を描いたドラマをVR映像で体験

高校生と研究者のワークショップ

未来を想像し、そこから見つかる課題を自分事として捉える機会の創出を目的に2021年度から川崎市立川崎総合科学高校科学科2年生を対象として年1回実施しています。豊富な知識と経験を持つ研究者達と意見交換をすることで、「未来は自分たちが創るものだ」というマインドを醸成し、科学を創造する喜びを感じてもらおう取組です。



出前授業

市内の高等学校に出向いて「出前授業」も行いました（神奈川県立多摩、川崎市立川崎総合科学等）。普段の授業で学んでいることが、どのように最先端の科学に関わってくるのかをイメージし、勉強することの必要性を感じて、将来に向けてのビジョンを描ききっかけとして利用していただければと思っています。



課外授業

キングスカイフロントへの社会科見学を市内はもちろん、全国各地から受け入れ、薬の研究をする施設がどういうところで、実際にどのような研究が行われているかなどを紹介しました。今後は、ケアリテラシーを学ぶ場としても活用していきます。



iCONM KIDS

小中学生を対象としたナノ医療の学習サイトを運営しています。専門用語もかみ砕き、イラスト付きでわかりやすく説明していますので大人でも楽しめます。ケア領域についての学習サイトも、プロジェクト“CHANGE”のホームページに設けます。詳細は本誌2月号のiCONMコラムをご覧ください。



iCONMコラム／看民工学コラム

本誌「産業情報かわさき」に、難しい科学の話や看護の話、定期的にコラムとして掲載しています。バックナンバーはQRコードよりご覧ください。



今後も、在宅看護に必要な「リテラシーの向上」を図ることと、その前提となる科学や医療への興味をもってもらえるための取組を進めていきます。



CHANGEで行いたいこと

五十嵐 歩（いがらし あゆみ） 研究開発課題4リーダー
 東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学分野・准教授。看護師・博士（看護学）。
 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了。



「プロジェクトCHANGE」では、市民の方々に身に付けてほしい健康・ケアの知識・技術を継続的かつ包括的に学べる「健康イノベーション学習エコシステム」を開発します。このシステムにより、市民の皆さんが自分自身や周囲の人へのケアについて学び、実践できるようにするための学びの機会と場を提供します。

すでにiCONMが市民公開講座やワークショップを実施している「リアルな学びの場」に加えて、メタバースを活用した「バーチャルな学びの場」を開発し、物理的距離や時間の制約なく学べる環境を整えます。このリアルとバーチャル両方の「学びの場」において、健康やケアについて学ぶことが可能になります。

まず、市民の方々に学んでいただきたいケアのリテラシーを包括的に学べるカリキュラムを策定し、そのカリキュラムに組み込む様々な学習プログラムを作成します。それぞれの学習プログラムでは、VRによる当事者視点の体験や援助方法の演習など、効果的な学びを促進する手法を活用します。さらに、これらのカリキュラムおよび学習プログラムと連動させた「ケアリテラシー認定制度」を創設します。この認定制度を活用して一人ひとりの学習内容に関するデータを蓄積することにより、包括的なケアリテラシーの習得が実現できます。さらに、得られた学びを発展させ、人々の健康に資する地域づくりの活動へと展開することも期待されます。

ケアリテラシーに関する「学びの場」「学習プログラム」「認定制度」を一体的に運営する「健康イノベーション学習エコシステム」により、プロジェクトCHANGEで開発される革新的な医療技術を効果的に活用できる社会の実現を目指していきます。



【この記事に関する問い合わせ先】

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（iCONM） CHANGE研究推進機構事務局
 E-mail iconm-kmkproject@kawasaki-net.ne.jp

社会課題に直面する今だからこそできるCHANGE

一木 隆範 さん / 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター研究統括
(兼 東京大学大学院工学系研究科教授)



今年の各社トップによる年頭所感では、「レジリエント」という単語が好んで使われました。「しなやかな」とか「弾力性のある」といった意味を持つ言葉ですが、コロナ禍による世界的な経済打撃から立ち直ろうとする各社の意気込みが伝わります。18世紀にイギリスで起きた「産業革命」は綿製品を国内で安価に製造したいという思いが発端となりました。工業社会の始まりです。1970年代半ばのオイルショックは太陽光発電などの再生エネルギー技術開発の原動力となりました。健全な危機感ではイノベーションを加速します。今、日本では超高齢社会の到来により就労人口に対する65歳以上の高齢者割合が52%を超えました。高齢者の急増は、パンデミック時に匹敵するくらい医療を圧迫することが以前より叫ばれていましたが、コロナ禍により私たちはそれを体験しました。医療崩壊にも繋がりがかねない危機感、人々が超高齢社会の課題について改めて考えるための良いCHANGE（機会）だと考えています。

文科省/JSTにより採択されたCOI-NEXT川崎拠点（プロジェクトCHANGE）のきっかけは、川崎市看護協会を訪問した際に感じた「看護」というブルーオーシャン（競争相手のいない未開拓市場）です。病床ではお馴染みのナースコールもナイチンゲールの時代からほとんど進化していません。工学研究者として、やるべきことがここには沢山あると感じました。超高齢社会の対策として始まっている病院の機能分化により、在宅医療は今後急速に増えます。しかし、昨年の本誌9月号に登場された川崎大師訪問看護ステーションの島田先生も語っていらっしゃるように、病院と違って在宅では看護師が24時間患者さんのお世話を

することができません。医療の専門性を持たない身近にいる人たちでも手軽に扱えるケア製品が必用です。今年の1月号では総合川崎臨港病院の渡邊先生が、新型コロナの在宅療養を支えたパルスオキシメーターの貢献について述べています。この指先にクリップするだけで血中酸素濃度を測ることができる道具がなかったら、在宅療養などとてもできなかったでしょう。さらには、コロナのみならずインフルエンザの抗原検査まで家庭で行える時代となりました。まさに、今がセルフメディケーションを再考し、安全に誰もが使える医療機器を開発するチャンスなのです。身近にいる人を誰もが看護できる社会。そんな社会に変われることを私達は目指しています。

CHANGE
Center of Excellence for Industry Innovation with Global Focus

*ロゴについての詳細は、今年の本誌1月号をご参照ください。

【このコラムに関する問い合わせ先】

ICONM 公益財団法人 川崎市産業振興財団
ナノ医療イノベーションセンター
看民工学事務局 E-mail iconm-kmkproject@kawasaki-net.ne.jp
TEL : 044-589-5700

COI-NEXT 川崎拠点 “CHANGE” キックオフシンポジウム

医工看共創が先導する レジリエント健康長寿社会の実現に向けて

CHANGE
Center of Excellence for Industry Innovation with Global Focus

3/27(月)

13:00~16:05

◆参加申込/3月23日(木)まで

会場(ステーションカンファレンス川崎) & オンラインのハイブリッド開催



Program

挨拶 13:00~13:20

開会挨拶 三浦 淳 川崎市産業振興財団 理事長
来賓挨拶 松本 洋一郎 共創の場形成支援プログラム
プログラムディレクター
久世 和資 共創の場形成支援プログラム
共創分野プログラムオフィサー
梅原 弘史 文部科学省科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課
拠点形成・地域振興室 室長

【第1部】プロジェクトの概要紹介 13:20~14:00

〈川崎市長からのメッセージ〉 福田 紀彦 川崎市長
〈医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会の実現〉
一木 隆範 プロジェクトリーダー/
ナノ医療イノベーションセンター/東京大学

【第2部】しなやかな医療を目指して 14:00~15:00

〈健康みまもりセンシングシステムの開発〉
内田 建 テーマ1リーダー/東京大学
〈生体 I/Oデバイスによる優しい医療介入技術の開発〉
松元 亮 テーマ2リーダー/東京医科歯科大学
〈老化を診断・制御するスマートナノマシンの開発〉
西山 伸宏 テーマ3リーダー/東京工業大学
〈長寿イノベーションの実現に向けた
市民啓発と実証フィールド構築〉
五十嵐 歩 テーマ4リーダー/東京大学
〈長寿イノベーションの社会実装〉
仙石 慎太郎 テーマ5リーダー/東京工業大学
〈パネルディスカッション〉
■モデレーター：一木 隆範
■パネリスト：各テーマリーダー

【第3部】看護の将来を共に創ろう 15:10~16:00

〈Future Opinion Board / 看護の将来をどう観るか?〉
川崎総合科学高等学校より代表者2名、
若手看護師より代表者1名
〈パネルディスカッション〉

■モデレーター：
島崎 真 副プロジェクトリーダー 連携推進/
ICONMコミュニケーションマネージャー
■パネリスト：
鈴木 奈美 川崎協同病院 副看護部長
山上 剛史 コールドクター株式会社 事業戦略部
主演 瑠純 第一生命ホールディングス株式会社
イノベーション推進グループマネージャー
五十嵐 歩 テーマ4リーダー/
東京大学大学院医学系研究科 准教授
グローバルナースングリサーチセンター

開会挨拶
片岡 一則 川崎市産業振興財団 副理事長/
ナノ医療イノベーションセンターセンター長

【問い合わせ先】

公益財団法人川崎市産業振興財団
ナノ医療イノベーションセンター (ICONM)
CHANGE研究推進機構事務局
E-mail change-event@kawasaki-net.ne.jp

主催 **KIP** **ICONM**
INSTITUTE OF INDUSTRIAL PROMOTION Innovation Center of NanoMedicine

後援 **川崎市** **川崎市看護協会**
KAWASAKI CITY Kawasaki Nursing Association

事業承継や事業継続力強化 (BCP策定) に向けた**専門家派遣**のご案内

事業承継や、事業継続計画 (BCP) 策定に向けて、経営状況や経営課題の把握、経営改善、株式譲渡や相続について、事業承継士、税理士、中小企業診断士等の専門家が個別訪問を行い、お悩みにお応えします。ご利用の際は、問い合わせ先までご連絡ください。

●対象●

事業承継：川崎市内に本店を有する中小企業者

事業継続 (BCP策定)：川崎市内に事業所を有する中小企業者等

●支援内容●

1社につき、3回まで無料で専門家を派遣いたします。

【問い合わせ先】

川崎市経済労働局 経営支援課 事業承継担当
☎044-200-3896 E-mail 28keiei@city.kawasaki.jp

小規模事業者の経営力向上のための**伴走支援 公募予定**について

将来の円滑な事業承継を見据え、経営計画やBCPの策定、経営革新や新事業展開に向けた支援を通じて、小規模事業者の経営力向上を総合的にサポートします。

身近な相談相手となる経営支援アドバイザーが月1～2回訪問し、経営課題の抽出から解決、将来に向けた事業計画づくり等を支援します。

また、必要に応じて経営課題に応じた専門家を派遣します。

●対象 川崎市内の小規模事業者

●費用 無料

●支援期間 令和5年5月～令和6年2月 (予定)

●申込方法 申込フォームからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/FUQz/206620>

●申込期間 令和5年4月1日から
令和5年4月28日まで



募集

川崎市内最高峰の匠 **かわさきマイスター**

川崎市では、例年4～5月下旬頃にかわさきマイスターを募集しています。自薦・他薦は問いませんので、長年技術・技能を研鑽されてきた方のご応募や、皆さまの身の回りにいらっしゃる素晴らしい技術・技能を持った職人の方々のご推薦をお待ちしています。

●公共施設・関係団体でチラシ・応募書類の配布、市政だより・ホームページでお知らせを予定しています

●募集期間に変更になる場合があります

応募条件 (応募時点)

- (1) 市内に1年以上在住または在勤している現役の優れた技術・技能職者
- (2) 年齢40歳以上、応募職種に25年以上従事している方

① 募集

4月上旬～5月下旬
公共施設でチラシの配布、市政だより・ホームページでお知らせします。



② 推薦・応募

5月下旬までに推薦書にてご応募いただけます
自薦・他薦いずれもご応募可能です。



③ 選考・調査

6月下旬～9月下旬
応募者への問い合わせや訪問調査を行います。



④ 認定・顕彰

11月頃 (予定)
※スケジュールは変更になる場合があります。



【問い合わせ先】 川崎市経済労働局 労働雇用部 技能奨励担当
☎044-200-2242 E-mail 28roudou@city.kawasaki.jp

かわさきマイスター

検索



川崎商工会議所 主催 / **新入社員 教育研修会**

当所では、新戦力として活躍が期待される新入社員を対象に実習型の教育研修会を開催いたします。新社会人としての心構えからビジネスマナー、報連相、職場の人間関係作りなど、ビジネスの基礎を身につけ、企業人への意識変革を図り、今後どのように仕事に取り組むかを学んでいただけます。毎年好評を頂いております当研修会を、この機会にぜひご活用ください。どうぞご案内申し上げます。

- ◆日時 令和5年4月4日(火)・5日(水)
9:30～16:30 (2日間とも)
- ◆会場 川崎フロンティアビル2階会議室
(川崎市川崎区駅前本町11-2)
- ◆講師 (株)マネジメントサポート 研究開発講師
大森 美貴子 氏
- ◆定員 60名 (先着順、定員になりましたら締め切ります)
- ◆受講料 会員1名 16,500円/非会員1名 33,000円
テキスト代、昼食代、消費税を含みます。なお、振込手数料は別途ご負担願います。

【申込・問い合わせ先】

◆申込方法
当所HP (<http://www.kawasaki-cci.or.jp>) より申込書にご記入の上、FAXもしくは下記QRコードよりお申し込みください。

◆問い合わせ先
川崎商工会議所 中小企業振興部 川崎幸支所
☎044-211-4114 ☎044-211-4118



参加無料

ウェルフェアイノベーションフォーラム2023を開催します

ウェルフェアイノベーションフォーラム2023では、企業や福祉施設などさまざまな関係者の連携により生まれた新たな福祉製品・サービスや令和4年度のかわさき基準(※)認証福祉製品をご紹介します。

最新の福祉機器に触れ、体験できる貴重な機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時/令和5年3月16日(木) 13:00~17:00
- 場所/KCCIホール 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル2階 (JR川崎駅から徒歩3分、京急川崎駅から徒歩1分)
- 対象/福祉機器分野への進出を検討している、又は進出をしている企業
ケアマネージャー等の福祉現場に関わる専門職の方、福祉に関心のある方
- 定員/100名

詳細については、市ホームページをご覧ください。
右のQRコードからアクセスできます。



【問合せ先】

(主催)川崎市経済労働局 イノベーション推進部
(事務局)日本コンベンションサービス株式会社
☎03-3508-2263
E-mail kawasaki-wi@convetion.co.jp

【フォーラム内容】

※ご興味のあるセミナーや展示会ごとに参加・申込みが可能です。また、展示会の出入りは自由です。

13:20~14:00 かわさき基準認証式

14:15~15:00

講演①「ロボット開発と福祉分野の未来について」
千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター所長
古田 貴之 氏

15:10~15:55

講演②「インクルーシブな社会の実現を目指して
~NHKアナウンサーから医療的ケア児の支援者へ」
国立成育医療研究センター 医療型短期入所施設「もみじの家」
ハウスマネージャー 内多 勝康 氏

13:00~17:00 展示会(※かわさき基準認証式中は一部中断)

- ・かわさき基準認証福祉製品(令和4年度認証製品)
- ・ウェルテック発の新たな福祉製品
- ・VRによる認知症体験等



古田 貴之 氏



内多 勝康 氏

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術
総合研究所からの
お知らせ



次世代事業創出デザイン支援事業のご案内

中小企業のデザイン経営・新事業創出に向けた開発を伴走支援します。



成長のチャンスを創りたい!!
中小企業の皆様
KISTECのリソース・デザインを
活用しながら、新事業開発
しませんか?

専門分野の担当者が、
新事業開発をサポートします。

こんなことで困っていませんか?

- ・不確実で混沌とした社会情勢下を突破する、新たなビジネスモデルを構築したい。
- ・デザイン活用した新事業開発の経験が乏しく、どのようにすればよいかわからない。などなど。

まずは、気軽にご相談ください♪

KISTEC 事業化支援

- ・中小企業とデザイン事業者をマッチングし、KISTECがデザイン、知財、開発の総合支援を実施。
- ・KISTECが、デザイン開発費を負担(最大200万円以内)。

【令和5年度の募集：3件程度の採択予定】

令和5年度のスケジュール(予定)は以下の通りです。

- ・支援テーマ募集期間：3月1日(水)~4月14日(金)
- ・デザイン事業者マッチング：5月中旬~5月下旬
- ・デザインプロポーザル募集：6月上旬~6月下旬
- ・審査会：7月下旬

<お問い合わせ・ご質問はこちらまで>

(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 事業化支援部 海老名市下今泉705-1
☎046-236-1500(代表) KISTECホームページ <https://www.kistec.jp>



がわしん 出張キャラバン探訪 Vol.92

※川崎市では、川崎信用金庫との包括連携協定のもと、魅力ある中小企業を発掘し、発信していきます。

トレンドマスター株式会社

We Create Family's Happiness ~家族の幸せ創造企業~

今回ご紹介するのは、中原区中丸子にてコミュニケーションロボットの企画開発・製造販売等を手掛けるトレンドマスター(株)です。代表者の中田氏は、和光大学を卒業後に(株)タカラ(現:(株)タカラトミー)に入社し、転職を経ながらも一貫して玩具業界で販売や企画、マーケティングに携わってきました。大きな組織で仕事をする中で、自分の仕事の成果をどのように残していくかと考えた時に、ただ利益を追求するのではなく、利用者を幸せにできるような商品を世に送り出したいと考え、2011年に当社を設立、独立をしました。

当社の主力商品は、コミュニケーションロボット「なでなでねこちゃんDXシリーズ」です。猫型のぬいぐるみにセンサーを組み込み、撫で方や触り方の違いに応じた鳴き声(本物の猫の鳴き声を収録!)を出す当社のオリジナル商品です。



なでなでねこちゃんDXシリーズ



なでなでワンちゃん

2014年には、中～軽度の認知症の方に対する癒し効果やコミュニケーション効果が確認されたこと等から川崎市のKIS認証(かわさき基準認証製品)を取得しています。また、その癒し効果から2022年には、熊本県に避難しているウクライナ避難民への「なでなでねこちゃんDXシリーズ」の寄贈やハチ公生誕100周年を記念した「HACHI100プロジェクト」での同社商品の提供が予定されています。

今後はより本物の猫に近づけた「なでなでねこちゃんEXシリーズ」のリリースやECを通じた海外での販売にも注力していくとのことです。気になった方は、Amazonや楽天等の通販サイトをチェックしてみてください。当社から直接購入することも可能です。

- 所在地 川崎市中原区中丸子327
- 事業内容 コミュニケーションロボットの企画開発・製造販売等
- ☎044-422-1641
- ホームページ <https://trendmaster.co.jp>

【問い合わせ先】 <情報提供：川崎信用金庫 平間支店>
川崎市経済労働局 経営支援課 ☎044-200-3896

3月18日(土)

川崎市 コンベンションホール 感謝祭 を開催します!

川崎市コンベンションホールは、武蔵小杉駅近くの高層マンション2Fにある施設です。施設を地域の皆様を知っていただくため、そして、地域の皆様への日ごろの感謝を込めて、子どもから大人まで楽しめるイベントを3年ぶりに実施します!

お笑いライブ、ミニコンサート、工作ワークショップに加え、今回はパンマルシェも開催します。ぜひ、お気軽にお越しください!

日時 令和5年3月18日(土) 11:00~15:00

会場 川崎市コンベンションホール
川崎市中原区小杉町2丁目276番地1

※詳細は施設HP

(<https://www.kawasacity-ch.jp/>)にて。

【問い合わせ先】川崎市コンベンションホール ☎044-455-6340



施設HP

入場
無料

● お笑いライブ ●

人気お笑い芸人「世間知らズ」、「コロウカン」によるお笑いライブ



世間知らズ



コロウカン



モンスターポンポン作り

● 工作ワークショップ ●

「モンスターポンポン作り」、
「トピアリー作り」、
「創造素材ラボ
(不要部材を使った物作り)」、
「表情筋レストレーニング」

● ミニコンサート ●

● パンマルシェ ●

パンの販売、その場で食べられる休憩スペースあり
(参加店舗)

TINY NATURA MARKET Bread&Cake、
パンと焼き菓子のPapapapa-n!、
BOULANGERIE Métier、ベーグルカンパニー、
Len -Local Speciality Factory-



ベーグルカンパニー



TINY NATURA MARKET Bread&Cake

市内の人気の
パン屋さんが
集まる

紹介
したい!

地元川崎で がんばるお店

Vol.
27

毎日食べたくなるような生活の一部に

有限会社マルヤ



今回紹介するのは、幸区南加瀬にておだんご屋を営む(有)マルヤです。

2代目社長の酒井さんは「日本の食文化を後世に伝える役割を担いたい。お客様の生活の支えとなる商品づくりを目指している。」と話してくれました。この気持ちに共感して地元夢見ヶ崎のみならず、日吉や遠方からも常連のお客様が来店してくれています。従業員含めて5名体制で毎日朝5時から気持ちを込めて手作りしています。



季節を感じられる商品が並ぶ店内。この季節は「おはぎ」や「いちご大福」がおすすめの逸品です。あんこは甘さの切れが良いマルヤこだわりの特注品を使用しています。「いちご大福」は毎日売り切れてしまう程の人気商品。ふわふわの大福に存在感のあるフレッシュないちごが、口にした誰をも幸せにしてくれます。

定番商品は、各種おだんご・巻きずし・おこわ。マルヤの商品は添加物を極力使用せず安心して食べられる商品です。営業時間は朝7時から夕方16時頃迄。定休日は月曜日です。商品が売切れ次第閉店してしまいます。皆さんも是非地元で愛される「おだんごのマルヤ」に足を運んでください。



- ◆有限会社マルヤ
- ◆川崎市幸区南加瀬1-9-4
- ◆☎044-599-4445
- ◆営業時間：7:00～16:00
- ◆定休日：月曜日



商店街イベントのご案内

<川崎区> MIMOSA FESTA (ミモザフェスタ) 2023

- 開催期間/令和5年3月4日(土)、5日(日) (メインイベント)
※フェアは3月12日(日)まで実施
- 会場/ラ チッタデッラほか
- 内容/国際女性デーである3月8日、イタリアでは“ミモザの日”と呼ばれており、大切な人へミモザの花を贈ることで日頃の愛と感謝を伝える習慣があります。イタリアの素敵な文化を広めたいという思いから、ラ チッタデッラでは「春の祭典」として毎年ミモザのイベントを開催しています。

【問い合わせ先】

株式会社 チッタ エンタテインメント ☎044-233-1934



<中原区> 第43回 こすぎ名物花見市

- 開催期間/令和5年3月26日(日) 10:00～16:00
- 会場/ニヶ領用水・渋川沿い
- 内容/ニヶ領用水・渋川沿いの桜並木周辺で、ステージ演奏、出店、フリーマーケットを4年ぶりに開催します。

【問い合わせ先】

花見市実行委員会 ☎044-722-8335